

文教厚生常任委員会活動レポート

開催日：令和7年12月9日(火)

開催場所：1・2号委員会室

●12月定例会提出議案審査

12月定例会提出の議案を審査し、担当部局から個別の案件ごとに説明を受け、質疑、協議、申し入れなどを行いました。

教育委員会

1. 中標津農業高等学校キッチンカー整備事業について（予算額 910万円）

持続可能な開発目標（SDGs）を通じて中標津町の発展に寄与する会（町内8法人）から中標津農業高校の教育活動推進のため寄附を行いたい旨の申し出があり、その有用的な使途を検討した結果、キッチンカー導入に至った説明を受けました。

【主な質疑】

委員：キッチンカーの外装をペイントするなど、中標津農業高等学校のキッチンカーだと一目でわかるような外装にしては？

担当：校名を入れたマグネット式のロゴステッカーを車体横に貼り付ける予定で、大きく目立つものです。

委員：車体が大きいのが目立たないのでは？農高生から外装デザインのアイデアを募ることや使いやすさなど、生徒と協議して運用することは？

担当：その予定でいます。生徒と相談し、運用もこれから協議していきます。

委員：ロゴステッカーのみの予定ですか？車体全体のペイントまでは？

担当：ペイントは高価なため単色にはなりますが、色やのぼり、椅子、テーブルなど目立つようなものを生徒たちと相談して進めます。

委員：予算に限りはありますが、ただステッカーを作るのではなく、生徒のためにもできるだけ制限を設けずに実施できませんか？

担当：それも含めて考えていきます。

町民生活部

1. 高齢者世帯等生活応援給付金給付事業について（予算額 2013万9千円）

原油価格や物価高騰の影響により、光熱水費や食費等、様々な支出が増加する中、その影響が特に大きいと考えられる低所得の高齢者世帯や障がい者世帯、ひとり親世帯などに対し、高齢者世帯等生活応援給付金を給付することで、低所得の高齢者世帯等の生活の安定と福祉の増進を図るとの説明を受けました。

【主な質疑】

委員：支給金総額1800万円（1世帯当たり1万円）の財源の内訳は？

担当：北海道の地域づくり総合交付金60万円と一般財源となりますが、現在、物価対

策の重点交付金が国会審議中で市町村への配分見込みが決定しだい、歳入への配分を調整検討する考えです。

委員：このような給付金は本年度は今回のみですか？

担当：福祉灯油的な内容での給付は、今回の事業のみと考えています。

2. 中標津町想いをつなぐ手話言語条例制定について

手話が言語であるとの認識に基づき、手話及び手話を必要とする人に対する理解の促進並びに手話の普及に関する基本理念を定め、町の責務並びに町民及び事業者の役割を明らかにするとともに、手話言語に関する施策を総合的かつ計画的に推進することにより、誰もが心を通わせることができる共生社会を実現するための、新たな条例制定内容の説明を受けました。

【主な質疑】

委員：パブリックコメントの状況は？

担当：1件の応募がありました。条例制定には賛成ですが、手話言語の文言を「日本手話」と修正し、日本手話を意識するものへと意見がありました。町は手話は一つであるという全日本ろうあ連盟の見解に沿った形で、あえて日本手話、日本語対応手話などの区別をつけず、手話そのものを対象としています。

委員：日本手話を使用しなかった理由と意見に対し手話の会とどのような協議を？

担当：手話を使う方は始めた年齢で表現が微妙に異なり、もともと耳の聴こえない方は日本語を理解されていない状態で手話を習得します。途中で聴力を失われた方は日本語を理解されているので、日本語をなぞった形で手話を表現します。日本手話は日本語とは若干異なる文法を使い表現します。厳密な定義はありませんが、全日本ろうあ連盟でも区別することで手話使用者が区別されることになるので、手話は手話と見解を表明しています。本条例もあえて日本手話とせず、広く対象を手話言語としています。